

エコ タイムズ Eco times

～熊本県環境センターだより～

102号

2025年度



(環境センターイベント 磯の生き物観察会)

目次

P 1	表紙	P 7～9	県からの情報 (環境立県推進課、高校教育課)
P 2～4	令和7年度環境絵画コンクール 入賞作品の紹介	P 10	環境マンガ
P 5～6	イベント報告	P 11	環境センター事業紹介
		P 12	情報プラザ新着紹介

「令和7年度熊本県環境絵画コンクール」入賞作品の紹介

本コンクールは、県内の小学生を対象に、環境について考えていることや感じていること、こうなったらいいなと思うことなどをテーマに絵画を募集しています。今年は、県内111の小学校から1,497点の出品がありました。その中から特選各学年2点、入選同4点、佳作同4点の合計60点の入賞作品を選出しました。入賞作品を掲載した「2026くまもとエコカレンダー」を作成し、特選作品は各月のページに載せております。

特選

5年
熊本市立北部東小学校
山本 龍



1月 環境センター賞 「かぎふりある自然みんなでむげんに」

3年
熊本市立黒髪小学校
淵上 穂希花



2月 グランメッセ賞 「死の海」から「きせきの海」へ

6年
益城町立広安西小学校
中野 未来



3月 グランメッセ賞 「ペットボトルの中の地球」

1年
熊本市立大江小学校
小森 晴貴



4月 グランメッセ賞 「きれいなさかなのすむところ」

3年
大津町立美咲野小学校
緒方 航士朗



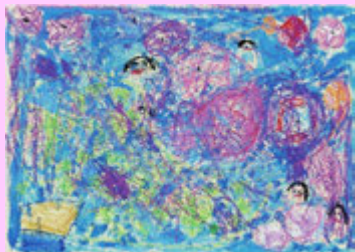
5月 再春館製菓所賞 「きれいな海」

6年
熊本市立五福小学校
渡邊 莉紗



6月 環境センター賞 「ミヤマカラスアゲハの飛翔」

1年
和水町立三加和小学校
日永 詞月



7月 エコくまもと賞 「だいすきなあさがおさん」

5年
熊本市立吉松小学校
田中 碧桜



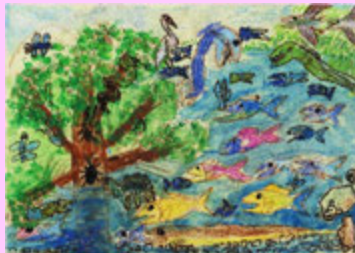
8月 環境センター賞 「ふるさとの宝物」

2年
熊本市立壺川小学校
下田 桃愛



9月 エコくまもと賞 「しぜんをつくる小人たち」

4年
熊本市立尾ノ上小学校
山平 陽介



10月 エコくまもと賞 「熊本のゆたかな自然」

2年
熊本市立白川小学校
岡本 咲



11月 エコくまもと賞 「ゆうやけの空」

4年
熊本市立帯山小学校
梶原 希友



12月 環境センター賞 「変えられる未来」

今年度も、多数の応募をいただき、関係者一同大変うれしく思いました。審査会では、そのすべての作品を、1つ1つじっくりと見せていただきました。どの作品からも環境を大切にしたいという思いを感じることができ、審査員の先生がとても悩まれていました。素晴らしい作品を応募いただき、ありがとうございました。

なお、入賞した作品は、令和8年3月31日（火）まで、グランメッセ熊本に展示していますので、ぜひご覧ください。



表彰式の様子

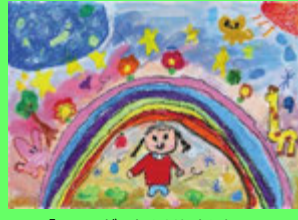
入選

出品して下さった小学生の皆さん、応募を呼び掛けていただいた関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

1
年



「きれいなちようよとわたし」
熊本市立壺川小学校 大平 奏芭



「みんながながくらくらすちきゅう」
熊本市立西原小学校 藤田 彩聖



「さかなとり たのしい！」
人吉市立人吉西小学校 山下 太誠



「わたしのだいすきなにじ」
錦町立木上小学校 平川 陽葵

2
年



「花」
益城町立益城中央小学校 かわ田はると



「かっこいいわがたいっぱいとんでたよ」
益城町立益城中央小学校 山本 慶真

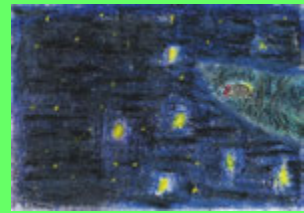


「きれいなうみ」
芦北町立内野小学校 緒方 蓮



「生きている阿蘇」
熊本市立白川小学校 川村 直諒

3
年



「ホタルのいる町」
熊本市立榎木小学校 久保田 千誉



「かがやく川と生き物たち」
御船町立御船小学校 宮田 明和



「ゆめの中の虫」
熊本市立麻生田小学校 長尾 颯志郎



「お花が大好き！」
熊本市立高橋小学校 梅野 龍星

4
年



「かいつぶりの「うきす」」
熊本市立五福小学校 荒木 美輝



「くらげの夜」
益城町立広安小学校 森 心音



「今年もアゲハチョウがぼくの家に来てきた」
熊本市立山ノ内小学校 藤山 煌季



「a girl with a snake」
熊本市立白山小学校 飯星 咲環

5
年



「セミと海」
熊本市立長嶺小学校 川内丸 賢太



「僕たちが残して行く海の宝物」
熊本市立花園小学校 内藤 正護



「自然とのつながり」
熊本市立砂取小学校 白浜 灯利



「海とひまわり」
芦北町立田浦小学校 高佐 優翔

6
年



「緑のカーテン」
熊本市立壺川小学校 下田 すみれ



「川の中で生きるメダカ」
熊本市立西原小学校 花岡 凜子



「100年後の自然」
熊本市立出水南小学校 竹下 湊真



「不動の樹林」
熊本市立白山小学校 豊世 彩乃

佳作

1
年



「さつきのうみ」
熊本市立長嶺小学校 田邊 元嘉



「うみのいきものだいすき」
人吉市立人吉西小学校 坂本 柚希



「みらいのうみ」
菊陽町立菊陽北小学校 山野 颯大



「環境絵画コンクール」
熊本市立春日小学校 沢井 里衣彩

2
年



「しぜんの森」
熊本市立力合小学校 塩月 志居



「沖縄でのシュノーケリング」
熊本市立古町小学校 吉里 拓丸



「よこんでいるうみのいきものたち」
熊本市立出水小学校 宮本 唄



「ずっときれいなうみのままで」
熊本市立出水南小学校 中島 慧人

3
年



「きれいな川べ川」
相良町立相良北小学校 宮原 想太郎



「きれいな海を」
菊池市立隈府小学校 高武 哲



「きれいな海の生きもの」
熊本市立月出小学校 藤原 悠歌



「土しゃくずればこわいよ」
熊本市立白坪小学校 上野 葵心

4
年



「美しい滝」
大津町立美咲野小学校 吉村 心華



「かわっていく時代」
合志市立南ヶ丘小学校 宮崎 透



「ゆたかな海」
熊本市立隈庄小学校 作田 陽亮



「しぜん」
益城町立益城中央小学校 山本 明依

5
年



「守り続けたい山田のふじ」
玉名市立高道小学校 稲田 海風



「阿蘇の冬の田んぼ」
南阿蘇村立白水小学校 後藤 倫太郎



「虫取り」
熊本市立出水南小学校 坂本 侑弥



「再生した水俣の海」
熊本市立黒髪小学校 瀧上 通翔

6
年



「豊かな自然」
山都町立蘇陽南小学校 佐々木 陽菜子



「しぜん豊かな江津こ」
熊本市立田迎小学校 采女 照真



「自然・田舎・大好き」
益城町立広安西小学校 村上 泰進



「昆虫与自然」
南阿蘇村立南阿蘇西小学校 中西将大

このコンクールは、熊本県環境センター・グランメッセ熊本・エコあくまもと主催、再春館製薬所協賛により毎年行っています。来年度も開催予定です。

化石レプリカを作ろう！

10月11日（土） 場所：環境センター（12人参加）



恐竜の爪や歯、アンモナイト等の化石のレプリカを作りました。石膏を水で溶いて型に流し込んで作ります。

石膏が固まるのを待っている間に環境について学びました。

恐竜に関するクイズで盛り上がり、環境にやさしい行動についてみんなで考えて発表したり、楽しく学ぶことができました。

石膏が固まったら色付けです。見本を見ながらそっくりになるように塗ったり、自分の好きな色でカラフルに塗ったり。個性が輝く素敵な作品が出来上がりました。



リ・グラスアートを作ろう！

11月2日（日） 場所：小川防災拠点センター（21人参加）

11月2日（日）小川防災拠点センターで、「リ・グラスアートを作ろう！」を実施しました。廃ガラスの粒（カレット）を使って絵を描きます。宇城地区での開催は初めてでしたが、21の方が参加しました。



イラストを板に写します



イラストを板に写しボンドを塗ります



上から廃ガラスの粒（カレット）をかけます



環境学習の後、好きなイラストを選び、制作に取り組みました。参加された方々は、熱心に取り組みまれました。カラフルな色の廃ガラスの粒（カレット）でこんなにきれいな作品が出来上がり、みなさん大満足でした！

熊本県立高校における環境教育の取組をご紹介します！～熊本県立熊本高等学校～

総合的な探究の時間における取組

本校では、1年生では個人で、2年生ではグループ・個人で課題解決に向けた探究活動に取り組んでいます。様々なテーマがある中から、現3年生が2年生次にグループで取り組んだ環境に関する2つのテーマの活動について紹介します。



テーマ1 ボタンウキクサの活用方法

【困りものの水草を役立てたい】

熊本県の江津湖では、特定外来生物の「ボタンウキクサ」が大量に増え、その駆除に多額の費用がかかっています。この捨てられるはずの水草を、何かに有効活用できないかと考えました。

【喉の痛みの原因は「針」】

最初は「草木染め」や「食べる」ことを試しました。染料としては色がつきにくく、食べると喉にチクチクした痛みを感じました。顕微鏡で調べると、痛みの原因は「シュウ酸カルシウム」という鋭い針のような結晶だと分かりました。(協力:熊本県産業技術センター)

【チクチクを活かした「虫よけ」】

この痛みを逆手に取り、アオムシの虫よけ「忌避剤(きびざい)」を作りました。実験の結果、この忌避剤を塗ったキャベツにはアオムシが寄り付かず、食べられるのを防ぐことができました。ボタンウキクサの活用方法として一つの可能性を見出すことができました。



テーマ2 すぎぼっくり〜杉の魅力伝えたい〜

【杉の魅力伝えたい！高校生の挑戦】

現在、日本の森林では手入れ不足で杉が増えすぎ、花粉問題や林業の人手不足が深刻になっています。そこで地元の「小国杉」などの魅力を発信し、杉を身近に感じてもらう活動を行いました。

取り組んだ主な内容は以下の3つです。

- **食用杉のクッキーの販売:** 杉の粉末を使った「スノーボールクッキー」を開発、販売し、1時間で完売するほど好評でした。(協力:パン屋 BREADAY)
- **杉の造花づくり:** かんなくずで「ウッドフラワー」を作る体験会を開き、捨てられる素材を用いたアート制作を楽しんでいただきました。(協力:TAKAraMORI)
- **ネクタイピン:** 杉の温かみを活かした製品を作るべく、レーザーカッターを用いて試作をしました。

SNSも活用しながら、環境や林業の課題に向き合いました。



熊本の地下水量保全に向けた取組について

熊本県は、豊かな水資源に恵まれた世界的にも珍しい場所です。特に、地下水は地域共有の財産であり、生活や産業に欠かせないものとなっています。

どうして熊本の地下水はたくさんあるの？

○ 阿蘇火山の噴火による水が浸透しやすい地質

約27万年前から9万年前にかけて4回にわたり大噴火が繰り返されました。火さい流等が降り積もった地層は、すきまや割れが多く、水が通りやすいため、降った雨などが地下にしみ込み、地下水になりやすい特徴があります。

○ 400年以上にわたる農業の営み

加藤清正公の時代に、白川中流域で堰(せき)や用水路がつくられ、水田が開発されました。火山活動により作られた地質が広がる白川中流域の水田は、通称「ざる田」と呼ばれ、通常の5倍から10倍も水が地下にしみ込むため、ますます地下水が豊富になりました。



熊本県内の地下水の利用状況

熊本地域の年間地下水使用量のうち、最も多いのは水道で、約1億トンと全体の約66%を占めています。

住民一人ひとりが節水の意識を持つことで、地下水量の保全に繋がります。

熊本地域における地下水年間取水量(R5)
合計 16,107万トン

用途	取水量 (万トン)	割合 (%)
工業	2,313	14.4%
水産養殖	205	1.3%
建築物	1,136	7.1%
農業	1,519	9.4%
家庭・その他	282	1.7%
水道	10,652	66.1%

※ 「熊本地域」…熊本市、菊池市(旧旭志村、旧泗水町)、宇土市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町

【お問合せ先】 熊本県環境生活部環境局 環境立県推進課(熊本市中央区水前寺6-18-1)
TEL:096-333-2272

地下水量保全の取組

熊本県は、水道水源の約8割を地下水でまかなっており、特に、熊本地域においては、ほぼ100%を地下水でまかなっています。半導体関連企業の進出により、今後、地下水採取量の増加が見込まれる中、県民の生活と産業を支える地下水をこれからも利用できるよう、様々な取組を行っています。

すいでんたんすい
水田湛水

営農の一環として、農作物の収穫前後の田んぼや畑に水を張り、地下に水をしみ込ませる「水田湛水」を実施



水稲作の推進

地下に水がしみ込みやすい水田の拡大に向けて、主食用米の作付けを推進



企業でも社食用として、熊本県産米を積極的に取り入れています。

上記の他にも、熊本県では、地下水保全のために様々な取組を行っています。熊本県ホームページやYouTubeで紹介していますので、ぜひご覧ください！

©2010熊本県くまモン

「水の国くまもと」のサイトで
地下水量保全の取組等を紹介

熊本県では
地下水保全に関する
情報発信を行っています！

熊本の豊かな地下水を未来へと
守り、育て、活かす

くまもとの水について知り、自分へ活かすために

https://www.pref.kumamoto.jp/site/mizunokuni-kumamoto/

熊本県HPにつながります

YouTubeで
地下水に関する動画を配信中

熊本県地下水保全推進本部
@kumamotogroundwater

チャンネル登録お願いします！

地下水水位
リアルタイム
配信中！
こちらをチェック！

地下水保全に関する
パンフレット

こちらからご覧いただけます

熊本県環境生活部環境局 環境立県推進課

きみにもできる

エコアクション!

一緒に

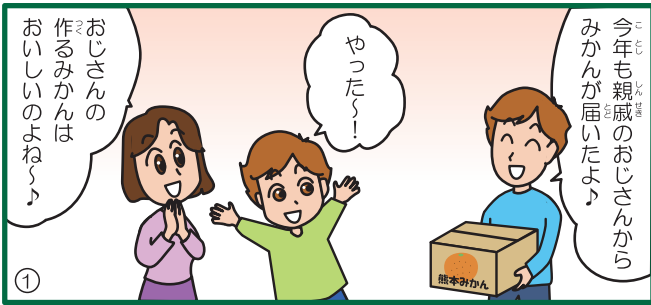
なまき 瑞ちゃん: 小学5年生

エコアクションはじめよう!

けい 境くん: 小学5年生

その49 きみにもできるフードロス対策!

by けい



みかん生産者さんのフードロス削減への取り組み
規格外みかんを利用した商品

- ドライフルーツ
- みかんジュース
- みかんの皮を使ったクッキー
- ロス集めのエキスを抽出して香水、ボディクリームに

みかんを長持ちさせる保存方法

玄関や廊下など暖房の効いていない温度の低い部屋
みかんはヘタを下にすると乾燥が防げ、しなしになりにくい。
通気性のよいかごにキッチンペーパーを敷き、みかんを並べる。
重ねるのは2段まで!
1段ボールを利用する場合は1週間に1回みかんの1段目と2段目を入れ替える

1段ごとに新聞紙かキッチンペーパーをしく
みかん箱を使う場合は底に通気穴をあける

もしもおじさん、みかん送ってくれてありがとう!
みかんを長持ちさせる保存方法があったら教えて欲しいんだ!

生産者も、せつかく丹精込めて作ったみかんを無駄にしないよう規格外などで出荷できないものはジュースやドライフルーツなどに加工したりと、廃棄にしないフードロス対策を工夫しているんだよ。

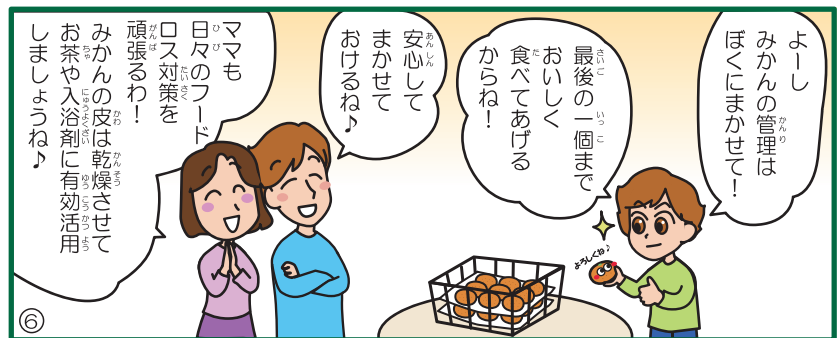
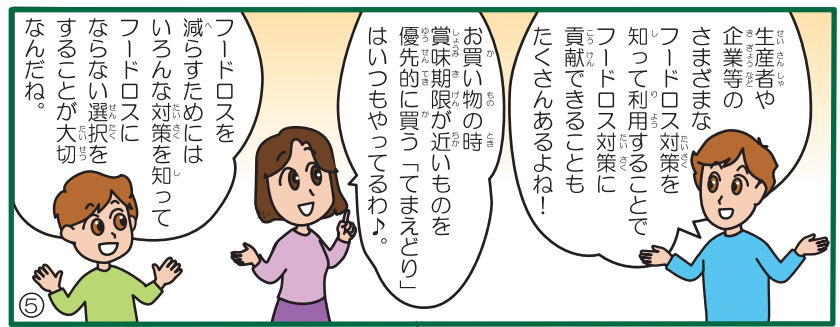
おじさん! おじさんが作ったみかん、最後の最後まで大切に食べるね〜

うん! おじさんが作ったみかん、最後の最後まで大切に食べるね〜

おじさん! おじさんが作ったみかん、最後の最後まで大切に食べるね〜

そのう編集後記

みなさんもうっかりみかんなどを腐らせて無駄にしまった経験はありませんか? 日本では毎年約460万トン以上の食べられる食品が捨てられていて、これは国民一人あたり毎日おにぎり1個分に相当します。フードロスの主な原因は家庭での買いすぎ・作りすぎ、事業者の過剰生産などがあげられ問題になっています。家庭で食品の無駄を減らす努力をすると共に、各企業でのフードロス対策の取組も、まずは知って、チョイスして、みんなでフードロスを減らしていきましょう。



環境センターで環境について学習をしよう！

こんなときに活用してみては？



いろいろな体験を通して、環境について学んでほしい。

子どもたちが自由に活動しながら、自主的に環境について学んでほしい。



環境センターで学んでみませんか？



環境センターには、スクリーンに出てくる問題に答えてスーパー台風や海面上昇を阻止する体験コーナーや模型を使った買い物ゲームなど、子どもたちが夢中になれる展示がたくさんあります。楽しみながら環境学習をするにはもってこいです。ご利用をお待ちしております。

また、館内での環境学習（講話）や制作体験を通じた環境学習も行っています。

環境センターの出前講座で学ぼう！

①動く環境教室

環境センターの職員がご希望のテーマに応じた環境学習を行います。

【内容】

無料

- ・環境問題についての講義
- ・ものづくりと環境学習
(リ・ガラスアート、万華鏡作り、紙すき、UVビーズストラップ作り、化石レプリカ作り、等)
- ・川や海の生きもの観察
- ・ネイチャーゲーム等



②エコロジスト

・リーダー派遣

エコロジスト・リーダー養成講座を修了したエコロジスト・リーダーが体験学習や伝統文化の体験の場を提供します。

【内容】

**1体験につき
材料代(実費)**

- ・体験学習
(里地・里山学習、食育・エコクッキング、紙すき体験等)
- ・自然素材を生かしたもの作りや伝統文化の体験
(竹箸づくり、水引リサイクルアート等)



③環境教育

指導者派遣

各分野の専門家や大学教授が環境学習を行います。

【内容】

無料

- ・講演会・学習会
(環境保全、自然環境、消費者教育、動植物など各種講演・学習会)
- ・自然観察会
(生きもの・植物・星空観察、大気・水・地質などの環境についての観察や測定など)



予約手順

対象 熊本県内の学校、公民館、PTA、子ども会・自治会、企業、市町村などの各種団体

①電話予約 → ②申込書提出 → ③派遣決定書通知 → ④事前打ち合わせ → ⑤環境学習の実施
《県内どこへでも出かけます。まずは、お気軽にお電話ください。》

※原則として、「館内学習」「動く環境教室」「エコロジスト・リーダー派遣」「環境教育指導者派遣」は予約希望日の1月前までにご予約ください。

情報プラザ紹介

この本をすすめたい！



『海底のサバイバル』 洪在徹/原案

美しい南の海、そこは様々な生き物たちが生存競争を繰り広げる弱肉強食の世界！商店街の福引で南の島への旅行を当てたダイヤ・マーレ・キュリの3人は、美しい風景、シュノーケリングやマングローブ林でのカヤック体験、ホエールウォッチングで南国バカンス気分を満喫していた！

ところが「あの光」がまた現れて小さくなって海の底をさまようことに…。ダイヤたちを襲う巨大魚をはじめとする海の危険生物たち！果たして3人は無事に海底のサバイバルに成功し、元の姿に戻れるだろうか？

『もしも桃太郎のおばあさんがマッチョだったら』 柳田理科雄/著

むかし話×空想科学＝発想力UP！

みんながなにげなく読んでいるむかし話。「桃太郎」や「ジャックと豆の木」などのそれって本当？って思うことを科学の視点でお話を読んでいくと、新しくてももしろい結末に！？むかし話の素朴な疑問を理科雄先生と一緒に考えることで「答えのない問題を自ら考える力」「頭を使う能力」が高まります。

自由研究、探究学習、STEAM教育に最適な1冊です！



新 着 本 紹 介

新しい図書がはまりました

一般書

- ◆ニュートン先生の地球46億年講義
田近 英一 / 監修
- ◆僕の仕事はごみ清掃員。
滝沢 秀一 / 著
- ◆〈驚き〉を呼び込む自然体験学習
関 礼子,井上 真理子,太田 和彦 / 編
- ◆大切な家族を守る「おうち防災」
奥村 奈津美 / 著

児童書

- ◆ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 吉凶通り4
廣嶋 玲子 / 作
- ◆マインクラフトで楽しく学べる！SDGs大図鑑
笹谷 秀光 / 監修
- ◆まんがで読めるごみってなんだろう？ 講談社 / 編
- ◆ぶっ飛び☆理科でゴー！ 海洋・気候編
キース / 著

あ
と
が
き

環境センターでは今年度もいろいろな環境学習イベントを開催しました。天気の問題で残念ながら中止になってしまったイベントもありましたが、御参加いただいた皆様には楽しく学んでいただけたのではないかと思います。これからも、ワクワクするようなイベントを開催していきますので、多くの皆様の御参加をお待ちしております。



熊本県環境センター

〒867-0055 熊本県水俣市明神町55-1 TEL.0966-62-2000

E-mail : kankyo-center@dance.ocn.ne.jp

- 開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日：毎週月曜日（月曜日が祝・休日の場合は次の平日）、年末年始



発行者：熊本県
所属：環境センター
発行年度：令和7年度